

IT 経済性ワークショップに関するよくある質問 (FAQ)

IT経済性ワークショップとは何でしょうか？ IT経済性ワークショップは、IT経済性評価のための対面形式のミーティングとなります。担当アナリストと、鍵となるお客様と一緒にIT経済性ワークショップの範囲を定義します。

ワークショップでは何について議論するのでしょうか？ ワorkshopの中で、担当アナリストは御社のITにおける目標や、挑戦分野、環境についてご質問するかもしれません。そして、これまで数百のお客様に対してのワークショップ実施経験をもとに、ベストプラクティスやベンチマーク情報を共有します。チャート資料は使用せず、対話を重視した協調的な議論となります。担当アナリストが御社IT環境を理解するほど、適切な情報を提供できることとなります。

IT経済性ワークショップはどのくらい時間がかかるのでしょうか？ 最初のワークショップは通常2時間で次のような流れとなります。

1. IT経済性評価の概要説明
2. スポンサー様から、ITにおける優先課題や主要な課題についての概要紹介
3. 現在の戦略、挑戦内容、見込まれる成果についてのご説明
4. ワorkshopでの検討範囲 - 検討範囲と検討シナリオを定義
 - a. データ収集に関してコンタクト先の決定
 - b. 検討期間や次ステップに関する説明

ワークショップにはどんな準備が必要でしょうか？ ワorkshopに事前準備は必要ありません。しかしながら、全ワークショップを通じて、IT部の方にご参加頂くのが重要となります。

ワークショップの開催場所はどこでしょうか？ ワorkshopは基本的にはお客様先にて行いますが、ご希望であれば弊社オフィスでの開催も可能です。

ワークショップにはどんなメンバーが参加すればよいのでしょうか？ 鍵となる参加者は以下となります。

エグゼクティブスポンサー ワorkshop実施をご決定くださった方。多くの時間は必要なく、実施頂く範囲は次の通りとなります。

- ワorkshop実施の承認 (ワークショップの前に)
- 今後の戦略や挑戦分野に関するご説明 (ワークショップ期間中)
- ワorkshopにおける検討範囲、検討期間の承認
- 担当者の割当て - システム使用状況データや、コスト情報等をご提供頂くコンタクト先の割当て
- 最終報告書の承認

上級ITアーキテクト ワorkshopで対象となるプラットフォームのワークロードを理解している方。基本的な業務要件や、可用性構成、災害対策、開発環境/テスト環境/検証環境について理解している方。プラットフォーム標準や、鍵となるソフトウェア要件 (例えば管理ツールやミドルウェアなど) も話題になるかもしれません。



IT財務アナリスト ソフトウェア費用、ハードウェア費用、人員コスト配置などのITコストについても検討しますので、ITコストをご理解されているアナリストもワークショップへのご参加を推奨いたします。

IT経済性評価にはどんな種類のデータが必要でしょうか？ リソース資源に対する要件や使用状況を把握するために、分散サーバやメインフレームのワークロードに関する情報を拝見させて頂くかもしれません。ハードウェア、ソフトウェアのライセンスや保守コスト、ISV利用料金、人員コスト、エネルギーコストも必要になるかもしれません。必要となる情報は、できる限り弊社アカウントチームから入手しますが、割振り頂いたコンタクト先のお客様からの情報を入手させて頂く場合があります。基本的にはデータは簡単に入手可能なもので特別なデータ収集ツールは必要としません。

ワークショップにデータが提供できない場合はどうなるのでしょうか？ ワorkshopはお客様IT環境の診断を目的とするため、より正確な情報を提供いただけると、このワークショップがお客様にとってより有効になると考えます。ある費用項目やデータをご提供頂けない場合は、過去他でのワークショップ結果で得られた業界標準値をお客様と合意の上、使用する場合があります。

ワークショップの後はどんなリソースが必要でしょうか？ ワorkshopの後は、ITアーキテクトの方との会話が必要となります。通常の場合数時間もかかりません。お客様に極力負担をかけないように心がけております。情報は可能な限り弊社メンバーから入手しますが、我々が持っていない情報についてはお客様にお問い合わせいたします。数人のメンバーで、数時間、何週かにわたり、メールもしくは短時間のチェックポイント打ち合わせを実施させて頂く想定です。

ワークショップ開催後は何をすればよいのでしょうか？ 担当アナリストは収集したデータを分析し、分析時に気づいた点を確認するために、コンタクト先のお客様と週次での打合せを行います。通常、ワークショップから約3週間程度で、中間報告書が準備可能となります。最終報告の前にこの報告をご確認頂き、必要であれば、仮定を見直すことも可能です。

最終報告書はいつ頃頂けるのでしょうか？ 通常の場合ワークショップから通常6週間となります。担当アナリストが対面形式の打合せを設け、詳細報告や考慮点について、また考慮点を踏まえた戦略的な推奨についてご報告いたします。

IBM Eagle Team - IT Economics Practice

eagletco@us.ibm.com

